

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.27)No.	1082	(H.26)No.	1082
-----------	------	-----------	------

事務事業名	地域自殺対策緊急強化事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
健康福祉部	健康支援室	北森洋司	

会計区分	事業コード	254701
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 衛生費	地域自殺対策緊急強化事業	
項 保健衛生費	(小事業名)	
目 成人保健事業費	地域自殺対策緊急強化事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本政策	4	健康長寿のまちづくり
	施 策	1	健康づくり
	小 施 策	1	健康づくり運動の推進
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
自殺対策力の強化及びこころの健康づくり推進。
事業内容
庁内の関係部署や民間等関係機関の相談支援に携る人材の育成を図る。また、市民対象の講演会・シンポジウムを実施し、自殺予防の普及啓発とこころの健康づくりに努める。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.26年度(事業量・取組実績)	H.27年度(事業量・取組計画)	H.28年度(事業計画)	H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	相談機関や民間支援にあたる人材のスキルアップを図るとともに市民が自殺予防のための行動が出来るよう啓発の強化を図る。 報償費225,000円 消耗品費437,500円 印刷製本費75,000円 委託料262,500円	相談機関や民間支援にあたる人材のスキルアップを図るとともに市民が自殺予防のための行動が出来るよう啓発の強化を図る。 旅費 60,000円 使用料及び賃借料60,000円 需用費270,000円 報償費360,000円 6月補正:750千円	相談機関や民間支援にあたる人材のスキルアップを図るとともに市民が自殺予防のための行動が出来るよう啓発の強化を図る。	相談機関や民間支援にあたる人材のスキルアップを図るとともに市民が自殺予防のための行動が出来るよう啓発の強化を図る。	相談機関や民間支援にあたる人材のスキルアップを図るとともに市民が自殺予防のための行動が出来るよう啓発の強化を図る。

	H.26年度(決算見込)	H.27年度(作成時予算額)	H.28年度(計画予算)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)
①直接事業費	1,000千円	750千円	750千円	750千円	750千円
内訳(千円)					
国・県支出金	1,000	750			
地方債					
その他()					
一般財源	(0) 0	0	750	750	750
人工数					
職員	0.10人	0.10人	0.10人	0.10人	0.10人
臨時職員等					
②概算人件費	(0千円) 750千円	750千円	750千円	750千円	750千円
①+②総事業費	(0千円) 1,750千円	1,500千円	1,500千円	1,500千円	1,500千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業などは点検対象外)

考察(H.26年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
近畿大学高専と連携し、若い世代に向けた啓発事業を行うとともに、市内3地域においてシニア世代の健康づくり事業に取り組み、多数の参加を得た。	今後も広く啓発事業等を実施し、自殺予防啓発に取り組む。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	こころの健康づくりの取組のひとつとして、保健予防の充実に貢献している。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 実践している(※実践内容を記載→)	健康づくり推進協議会等で内容審議している。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(縮小)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画 健康なばり21計画
国の補助金は減額となったが、本事業は継続する必要がある。	